

# 桑名文化協

平成14年3月20日  
第 11 号  
桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361

## ご挨拶



会長 内藤 恵 介

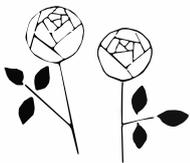
う考えが多くなり、「文化祭検討委員会」を設置し、その新しい方向を話しあっているところです。

又同時に「十周年記念事業委員会」「組織検討委員会」も設置して、次なる十年の計画を検討するため各理事の皆様には、いづれかに属していただき話しあいをはじめていただいています。

各会員の皆様もご意見等を理事をつうじて、又は直接委員会等に参加されて共々新しい方向を見出すことが出来ますよう、ご協力の程お願いします。

桑名市文化協会も本年度の事業をほぼ終了し、来る五月十二日には第十回の総会を迎えることとなります。この十年の間も桑名市民芸術文化祭を中心に、春の文化市場・月釜茶会・華道展の開催、文化協会補助金の新設、会員の皆様の中から桑名市文化功労賞を受賞されたこと、それぞれの活動に対する後援事業などその活動の場を拡げ、特に本年度は「平成のまちづくり四百年事業」に協力してまいりました。

しかし十年にもなりますと文化祭のあり方についても改革したいとい



## 第10回

### 桑名市民芸術文化祭

### 盛会、成功そして成長を！

文化祭担当常任理事 松田 正美

第十回市民芸術文化祭が無事終了しました。各部門の役員の皆さん、会員の皆さん御苦労様でした。

各分野それぞれ限られた予算と日程の中で創意工夫をされ、十回という節目にふさわしい発表、展示をされたと思います。また、昨年は慶長の町割・東海道宿駅制度四百周年ということで、市民芸術文化祭が例年になく盛り上がったと多くの人が感じられたことと思います。

ある部門の事業報告の中に文化祭は色々なジャンルの人が一堂に会するという数少ない機会、お互いの団体の活動を認め合える良い機会だとありました

が、正にその通りです。桑名の市民芸術文化祭ほど多様性にあふれた企画は他市町でも、そんなに多く見られるものではありません。

しかし一方で今後の課題もいくつかあります。開催期間が一定時期に集中していること。部門によっては数年に一回しか自己の作品を展示してもらえないといったことです。今後、こうした様々な課題を一つ一つ話し合いクリアしながら、これからの市民芸術文化祭のあり方を考え実行していきたいと思っています。

第10回 桑名市民芸術文化祭	
桑名市市民芸術文化協会 一階ホール	
3月10日	文芸展
3月11日	九草桑名菊花展
3月11日	芸能の祭典
3月11日	吟剣詩舞道の祭典
3月25日	趣味教養まつり
3月25日	2001 音楽のフアコース
3月25日	水石展
3月25日	腕試し囲碁将棋大会
3月25日	DANCEパーティー

主催 桑名市市民芸術文化協会  
桑名市教育委員会

# 部門だより

文学部門 三田香代子

## ◎桑名市民芸術文化祭

文芸展 十一月二日(土)

十一月三日(日)

場所 桑名市民ホールロビー

## ◎一楓・山城顕彰短歌大会

(金雀枝短歌社)

本大会は、金雀枝創刊七十周年を記念して桑名で開催し、今年は六回

## 吟剣詩舞の祭典を省みて

芸能Ⅱ部門 水谷 俊和

(桑名市吟剣詩舞連盟)



目を迎える。これは、一楓・山城両師の業績を顕彰し、併せて若い層への短歌普及ができればとの願いもあり、毎年小中高生の短歌を募集、本年度も桑名市内の各学校に依頼の上締切り迄に応募してもらう予定です。

【締切】小学校↓一学期末  
中学校↓九月初め

作品は審査(特選・入選・佳作)後、全作品を作品集にして応募の各校に配布。入賞作品の一部は、桑名市の文化祭に展示いたします。

平成十三年十一月十一日、桑名市民会館ホールにて、第十回桑名市民芸術文化祭の重要イベント「吟剣詩舞道の祭典」、特集「漢詩で詠い継ぐ東海道」が、桑名市吟剣詩舞連盟、十流会派の四六五名で構成された団体参加のもとに盛大に開催され演ぜられました。

平成十三年度は、本多忠勝公による桑名の町割と東海道宿駅制度の二つが施行されて四百年という記念すべき年にあたり、特別企画の構成吟「東海道、桑名の宿」、特集「漢詩で詠い継ぐ東海道」の二企画と各会派の会員の吟詠と剣詩舞の日頃の研鑽の素晴らしい発表となりました。現代の世相は・民族・宗教・文化・個人が全く対立の様相を見せ、人間の

## 悼 葛山たけし先生

佐藤 たもつ

たけし先生が亡くなられた。突然の訃報に言葉も無い。つい三日程前に御舎弟に御会い仕した時、葛山家は長寿の家系だから兄も長生きするわなど聞かされた矢先の事として一瞬夢かと思った。

そして己にかえった時、数々の思い出が頭の中を駆け回った。本統寺の芭蕉句碑再建記念句会での出合い。誓子先生の御来駕を乞うての八風俳句会の創立。そして俳誌天狼同人となり桑名市公民館(現中央公民館)の講師となられた事等、長年病魔とも闘いながら俳句一筋に生き通された先生の偉大さが今更の様に思い出される。

吾々後に残る者は一層心を引き締め、少しでも桑名の俳句界の為に動かねばと思ふ次第であります。

先生安らかに御眠り下さい。そして桑名の俳句会を御守り下さい。

合掌

文化遺産の存在価値をも変えつつあるようです。

気を養い、自己の鍛錬につとめ礼と節を研磨する芸道が今こそ求められる時代は無いと歴史は語りかけているようです。崇高なる精神の育成と人格の完成を目ざし、個性ゆたかな日本文化の創造、発展を目指すべく、日々吟剣詩舞に邁進努力することを感じた、意義ある祭典でした。

## 第11回 市民芸術文化祭・芸能の祭典 開催の知らせ

芸能Ⅰ部門 松尾 廣文

『第十一回市民芸術文化祭・芸能の祭典』は、平成十四年十一月十七日(日)に、桑名市民会館において開催いたします。日本舞踊、大正琴、民謡、箏曲など三十団体の舞台発表を行います。

また、四月七日(日)に、第三十四回桑名邦楽大会を桑名市民会館で開催します。のでご来場を頂きますようお願い申し上げます。



# ダンスで夢を

芸能Ⅲ部門 岡本 早苗  
(フラメンコ・ルナ)  
洋舞の部門では、伊藤好子&ダンスングステップ、武者真理子モ



ダンバレエキッズ、フラ・ワイ・カ・レイアロハ桑名とフラメンコ・ルナ  
の四グループが、各の个性的なり  
ズムとステップを大切にしたい身体  
表現に取り組んでいます。

毎年秋の洋舞の祭典は、一同が  
会して日々の練習の成果と工夫さ  
れた演出振付を発表できる貴重な  
機会です。昨年は幼児から大人ま  
で約百名のダンサーが舞台狭しと  
踊りました。今年はより多くのグ  
ループの参加も期待して、さらに  
たくさんの方の市民の皆様と夢を  
与えられるすてきな舞台を目指し、  
参加者同士刺激し合いながらも力を  
結集して行きたいと思えます。

## 平成14年度行事計画

茶華道部門 上木 美翠 (華道石田流)

秋の市民芸術文化祭  
への参加、年間を通して  
開催される月釜茶会、  
華道展等では、市民の  
皆様を始め、六華苑へ  
の来館の方々にも楽し  
んでいただいております。  
月釜での華道展では、  
担当流派が趣向を凝ら  
した花席で皆様をお迎  
えします。是非お出掛  
けいただき、季節の草  
花と語らい、一服のお  
茶を味わっていただけ  
たら幸いです。

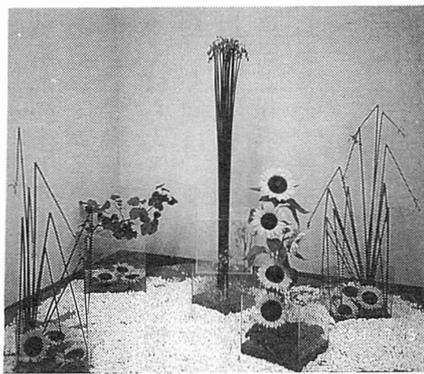
平成14年度 六華苑での  
月釜・華道展予定  
(午前10時～午後三時三十分)

3/16 (日)	2/16 (日)	1/19 (日)	10/20 (日)	9/15 (日)	7/21 (日)	5/19 (日)	4/21 (日)	開催日	茶道担当流派	華道担当流派
表千家流	裏千家	松尾流	松尾流	遠州流	煎茶松風流	裏千家	表千家流	茶道担当流派	華道担当流派	華道担当流派
石田流 池坊サークル いけばな池坊	竹真流		池坊	中山文甫流会	小原流	草月流	MOA山月光輪花			

※茶会は離れ屋、華道展は番蔵棟  
で行います。

●市民芸術文化祭(六華苑)

茶会 十一月三日  
華道展 十一月二日・三日



## 本年の桑名演劇界は...

演劇部門 星野隆二郎



桑西児「住まいるD.K」

演劇では少子化の流れにおされ  
子供演劇くわなは、公演が難しく  
なっています。他方昨年発足した  
桑高OGと桑名西高OB「桑西児」  
は、今年も市民芸術文化祭での元  
気な演技が期待されます。  
また桑高、桑西、桑北の高校三  
校も年々レベルを向上させており  
春夏の高校大会の他、市民芸術文  
化祭にも出演の予定です。  
演劇がおも地道に練習をつん  
でおり、今年も例年通りの数回の  
公演がある予定です。  
今後を御期待下さい。

## 作品展示についで一言

趣味教養部門 伊藤 友子 (フレンドキルト)



平成12年市民芸術文化祭 (市民ホールロビーにて)

趣味教養部門では年二回春の文化市場と市民芸術文化祭を行って居ます。何時も市民会館ロビーを使用して居まして、作品展示講習会及体験コーナーなど行つて居ますが少し狭い様に思います。もう少し場所があればいいと思いません。理想としては多目的に使用出来る文化会館の様な会場があればサークル活動されてる多くの方々との合同展示会など出来て、桑名文化の発展にもなるのではと思います。

## 地域の文化発展に貢献

桑名市文化協会の会員である二名の方と一つの団体が、文化の誉れ高い各賞を受賞されました。

今回、受賞されました水谷正さん(社会文化部門)は、半世紀にわたる公民館活動にご尽力いただき、西羽晃さん(社会文化部門)は、郷土桑名のみならず県の歴史研究にと、それぞれ地域文化の振興にご貢献いただき、平成十三年度文部科学大臣表彰を受けられま

した。また、劇団すがお(演劇部門)は、地域に根ざした定期公演を地道に重ね、国際交流への貢献も多大なものがあり、平成十三年度桑名市文化功労者として表彰されました。

会員の皆様の活躍は、たいへん喜ばしいことです。今後も、桑名市の文化振興に貢献できるように、会員全員の力を結集しましょう。

## 昨年の成功に続き 今年は10回の記念集会に

社会文化部門 水谷 知子 (桑名ユネスコ協会)



秋晴れの十一月十一日、大山田にあるコミュニケーションプラザ二階の和室で、第十回市民芸術文化祭のざつくばらんとーク(9)が開催された。今回は、桑名ユネスコ協会が担当し、日本ユネスコ協会連盟事務局より事務局長代理の寺尾明人(あきと)氏を講師に招いて、

る事業について熱く語って下さった。万人のための生涯教育、環境を守るための科学の推進、世界の文化及び自然遺産の保存、保護、無形文化財(伝統音楽、芸能等)の保存、そして万人に利益のある公正な情報社会の構築などがあげられた。アフガニスタンでタリバン政権によって破壊されたバミヤンの仏像もユネスコが中心になって修復活動をしているということも含んでいた。日本ユネスコ協会連盟がはじめた世界寺子屋運動にも話が及んだ。

発展途上国の貧困のサイクルに、基礎教育が受けられない、基礎教育を受けていないので、良い仕事につけない、仕事につけないとお金ももらえず貧しい、という悪循環、このサイクルを断ち切るために、基礎教育(読み書き、計算能力)が重要だと力説された。

コミュニケーションプラザ二階のロビーでは、桑名ユネスコ協会会員が出席したバンダラディシユの地域学習センター「桑名」の開校の様子を写したパネル展も開かれ、多くの人が熱心に見入っていた。

今年はこのざつくばらんとークも第十回を迎える。記念集会として盛り上がるよう準備をすすめている。

「ユネスコ平和を求めて」というテーマで講演していただいた。会場には、数名の中学生を含む若男女六十数名が、熱心に講師に耳を傾けた。最初に同じテーマのビデオを観た。それに続いて寺尾氏は、ユネスコ(国際連合教育、科学、文化機関)が推し勧めている

# 桑名市文化協会所属団体一覽

音楽部門 (13)										美術部門 (21)										文学部門 (5)																		
光陽保育園	SOINコミュニティシンフォニーオーケストラ	トインポップスオーケストラ	桑名マンドリン倶楽部	桑名リコーダー教育研究会	桑名吹奏楽団	桑名弦楽合奏団	ZACK BEAT	JCブラザーズ	混声合唱団カンタービレくわな	くわな市民コーラス	桑名少年少女合唱団	シャンテレベル「桑名第九記念合唱団」	桑名萬古陶芸協会	空石陶遊会	写団しぐれ	全日本写真連盟桑名支部	凝神書道会	一諾書道会	書芸神彩会	桑名アミー粘土人形の会	桑名彫刻会	藍華の会	彫型画 桑名愛好会	ちぎり絵サークル	留美寝参寿 久波奈	アトリエ創	桑名美術クラブ	青黄会	日本画研究会	桑名美術会	桑名竹琳会	ぐるうぶ雑創	くわな川柳会	俳句あやめ会	八風俳句会	蓮花寺俳句会	金雀枝短歌社	
合奏	オーケストラ	ジャズラテンポップス	マンドリン	リコーダー	吹奏楽	弦楽	ロック	ポップス・ロック・フォーク	合唱	合唱	合唱	合唱	陶芸	陶芸	写真	書道	書道	書道	陶工芸	彫刻	藍染	彫型画	ちぎり絵	洋画	洋画	洋画	洋画	洋画	日本画	水墨画	絵画・写真・陶芸等	川柳	俳句	俳句	俳句	短歌		
芸能Ⅲ部門(3)			芸能Ⅰ部門(33)																	芸能Ⅱ部門(1)																		
フラウ・イ・カ・レイアロハ 桑名	武者真理子 モダンバレエキッズ	伊藤好子&ダンシング・ステップ	桑名市吟剣詩舞連盟	伊勢一絃琴楽風会	琴衛会 美楽流(みらくる)	澄音会	琴伝流大正琴 弦洲会	琴和会	明琴会	桑琴会	箏曲 古川久子社中	箏曲 安藤社中	ぐるうぶ東(つか)	生箏会 大竹一枝社中	箏曲 坂道子社中	箏曲 春琴会	都山流尺八	現代三味線研究会	勝六流 邦楽会	藤寿栄会	川崎流瀧奈々会	民謡 福珠会	日本民謡桑名豊淑豊会	JNKチエリー	伊勢路流舞踊	紫堂会	歌謡舞踊 芝 紫雀会	南條流舞踊	七和笑和会	西川流舞踊	紫野会	内田茂千加社中	日本舞踊 葵会	るり茂会	藤間流藤間勘浩紫社中	桑名市謡曲連盟		
フラダンス	モダンバレエ	ジャズダンス	詩吟・剣詩舞	近代大正琴	大正琴	大正琴	大正琴	大正琴	大正琴	大正琴	箏曲	箏曲	箏曲	箏曲	箏曲	尺八	現代三味線	民謡・三味線	民謡・三味線	民謡・三味線	民謡	民謡	民謡	現代風アレンジダンス	日舞・歌謡舞踊	歌謡舞踊	歌謡舞踊	日舞・洋舞	日舞	日舞	日舞	日舞	日舞	日舞	謡曲・仕舞			
子ども文化部門(2)				趣味教養部門(14)										社会文化部門(2)					演劇部門(3)					茶華道部門(15)														
団体数合計				くわな子どもの本の会	着付け 白樺会	桑名愛石会	九華桑名菊花会	全日本かるた協会 桑名若菜会	彫型画サークル	日本アマチュア将棋連盟東海ブロックくわな	アートフラワーサークル(森 創花)	クラシック・サークル	オランダダンスフォークアート会	トル・イ・エ・オ・ラ・ン・ダ・ン・ク・ア・ト	ハンズ大森 手芸教室	Quiet Mates(キルトメイツ)	籐工房アメリイラタン	フレンドキルト	桑名国際文化交流委員会	桑名ユネスコ協会	桑名演劇協会(研究会)	子ども演劇「くわな」	劇団すがお	志野流 香道	いげばな池坊	竹真流	華道 小原流	華道 草月流	石田流 華道会	池坊	未生流 中山文甫会	MOA山月光輪花	華道池坊サークル	煎茶 松風流	茶道 裏千家	遠州流 茶道	表千家流	茶道 松尾流 三重松蔭会
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

## 音楽が持つ和の力と 協調について

音楽部門 加藤 卓  
(ZACK-BEAT)

二〇〇二年度の音楽部門全体の予定は、毎年秋に行われる市民文化祭（音楽のフルコース）を、今年もいかに全会員協力の下に成功出来るかについて部門会議を開き、また、音楽が持つ未知の可能性、音楽での人と人のつながりについて話し合い、桑名の文化発展の為に音楽部門に出来ることとは何かと、会員それぞれの意見を聞き、話し合い、個々のサークルとの協調、また和をより一層広めたいと思っております。

## 第10回総会予告

日時 平成14年5月12日(日)  
午前9時30分から  
(受付 午前9時から)  
場所 桑名市民会館 大会議室  
内容 昨年度事業報告・収支決算について  
今年度事業計画・収支予算について  
他

☆各部門ごとに代議員の選出をしていただきます。  
詳しくは、各部門長から連絡します。

## 楽しんでやろっ

美術部門 山上 貴  
(桑名萬古陶芸協会)



第十回芸術文化祭の開催にあたりまして美術部門独自で美術展のDM、コミュニケーションプラザ会場周辺に幟を立てて広く市民の皆様様に観覧に来て頂ける様、一同知恵を絞っていただきました。お陰で入場者一五五〇名の、多数の方々に観て知って戴く事ができて大変有難う御座いました。

桑名萬古陶芸協会は萬古発祥の地桑名で先人の足跡を辿りその伝統陶芸の伝承と、陶芸文化の創造と振興の寄与することを趣旨として設立三年になります。昨年度はチャリティー展を開催し桑名文化協会・桑名市福祉協議会にそれを献金、本年度は世界陶磁器エキスポ研修旅行（韓国）来年度は夏頃に中国景德鎮窯を見学予定としておりますので陶芸に興味がある方の多数の御参加をお待ちしております。

## 子供が豊かに育つために

子ども文化部門 川崎 雅子  
(くわな子どもの本の会)

子ども文化部門では、未来を担う子どもたちのために親と子が参加できる事業を予定しています。

十一月十日(日)に中京女子大学の棚橋美代子先生の講演会「子育てと絵本」と「三重子どものマナー研究会」の子どもマナー教室を開催します。

六月二十九日(土)と十一月三十日(土)には、「くわな子どもの本の会」と図書館の共催で絵本の読み聞かせ会「ねえおはなしきいて」を行います。

親が子どもへ絵本を読むのは知育の為ではなく、親の絵本を感じる心・喜びや楽しさ、悲しいと思う気持ちなどが子どもの心に届けられることだと思います。また物語の世界に出会うことで想像力が育てられていくようです。昨年の九月以来、世界は増々混沌とし、地球環境の悪化も日射しの強さやここ数年の豪雨で弥が上にも実感させられます。感性豊かな子に育てることは、異文化への理解を深めることや身の周りの環境の変化を察知し自分達に何が出来るのかと考える行動できることにもつながっていくのではないのでしょうか。

## 編集後記

二十一世紀幕開けの年は、皆様にとつていかがでしたでしょうか。市民芸術文化祭開催十周年、また桑名開府四百年と、記念すべき節目が重なり、各部門とも例年以上に華々しく、熱意を込めて文化祭行事を終えて頂いたことと思います。この「桑名文協」も、皆様の御協力によりまして今年度は二回の発行をすることができ、広報委員一同感慨の極みです。協会設立十年を一区切りとして、今後も更に桑名文協の躍進と、新世紀が皆様にとって文化の格調高い時代となり行くことを願っております。

### 広報担当常任理事

文学部門	西村 邦彦
美術部門	中澤 康哉
音楽部門	山上 貴
芸能I部門	加藤 卓
芸能II部門	松尾 廣文
芸能III部門	伊藤 昇三
茶華香道部門	天野 裕美
演劇部門	上木美代子
社会文化部門	星野隆二郎
趣味教養部門	大河内 浩
子ども文化部門	平屋敷恒子 長尾寿美子